ふれあい教育対談通信

令和８年度 No.４
滋賀県教育委員会

９月 28 日（月）大津商業高等学校を訪問しました！

対談テーマ

魅力ある県立高校づくり②

大津商業高等学校では生徒が主体となり、びわこビジターズビューローと協働し、高校版 DMO「観光ビジネス推進協議会」を構築。観光ビジネスを通して、持続可能な観光地域づくりについて学んだり、「ここ滋賀」での販売実習をはじめとする取組を進めています。今回は生徒3名との意見交換を行いました。

訪問した教育委員

土井 真一　委員、塚本 晃弘　委員、森　和之　委員

授業参観





３年生の商業科目「課題研究」の授業を参観させていただきました。観光ビジネス講座の授業では、生徒たちが班ごとにそれぞれの地域の特徴を生かした移住促進策を話し合っていました。グローバルビジネス講座の授業では 10 月４日（日）にあるデスティネーションキャンペーン、プレイベントに向けた最後の練習に熱心に取り組んでいました。

意見交換より

委 員：みなさんが大津商業高校へ進学しようと決めたポイントはどこですか。
生 徒：私は役に立つ資格が欲しいと思っていました。学校説明会でたくさんの資格が取得できると聞き、進学を決めました。
生 徒：中学校の先輩から商業科でしか学べないことがあることを聞きました。また文化祭もとても盛り上がると聞き、オープンキャンパスに参加したことがきっかけです。
委 員：中学３年生の生徒に大津商業高校をPRするなら、どんなことを伝えますか。
生 徒：実習がたくさんあるので、自分から主体的に学ぶことができます。
生 徒：大津商業高校は自分が得意なことを見つけられる学校です。私は中学校までリーダーの仕事は自分に向いていないと思っていました。高校生になってたくさんの人と関わり、自分一人では発揮できなかった力があることを知りました。
生 徒：資格がたくさん取得できるところが魅力です。私は今、日商ビジネス英語検定１級に挑戦しています。
委 員：「こんな授業がたくさんあれば」というような要望はありますか。
生 徒：学校外へもっと出て実際に働くことを高校生のうちから経験したいです。
委 員：生徒のみなさんがそれぞれ課題を発見し、その解決に取り組んでいると伺っています。自ら課題を見つけるために、普段からどのようなことを意識されたり、どんな場面で課題と出会っているのですか。
生 徒：普段の生活から意識しています。私は毎日の登校から公共交通機関の課題について考えるようになりました。

生 徒：授業で色々なことを調べるようになって、自分自身の生活を見る視点が変わってきた部分があります。

委 員：滋賀県の県立高校をもっとよくするためのポイントはどこだと思いますか。また、高校を選ぶときのポイントはどこにありましたか。

生 徒：もっと高校生同士の交流を深めるような取組を進めたらよいと思います。同じ商業科同士や普通科と商業科が交流するようなこともできたら、いろいろな可能性が広がるのではないかと思います。

生 徒：授業の中身やカリキュラムをもっと PR していったらよいと思います。

生 徒：自分の将来像につながる授業がある学校を選ぶことが大切だと思います。

生 徒：可能な限りいろんなオープンキャンパスに行くことが大切だと思います。学校の施設面だけではなく、先生や生徒同士の雰囲気もとても大切です。たとえ遠くても、どんどん参加してほしいです。



